



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん 日本人と外国人が、なかよ 仲良く助け合っ  
たの せいかつ 楽しく生活していくことを願って、活動をつ  
つづ 続けています。

# くろするる〜ど

がつがつべいごう 2026/2・3月合併号 だい 第311号

かいほうし 会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

げっかん 2026/2・3月合併号 がつ 第311号  
〜サロン月間カレンダー3月〜

こくさいこうりゅうじぎょう 国際交流事業30周年を祝う式典  
「国際交流事業30周年を祝う式典」

## ■日本語学習会

にほんごがくしゅうかい  
日時：3月2日(月)～3月23日(月)

※20日は祝日で休みです。24日(火)から春休みになります。新学期は4月6日(月)から始まります。

場所：会議室または学習室ほか

## ■実行委員会

じっこういんかい  
日時：3月11日(水)午前10時～昼12時

場所：学習室

## ■文化交流部会・民踊流し練習

ぶんかこうりゅうぶかい  
日時：3月7・21日(土)午前10時～昼12時

場所：学習室 \*定員に達し、募集は終了

※桜まつりの民踊流し参加に向けての練習

## ■桜まつり出展

きくら しゅつてん  
日時：3月28日(土)・29日(日)

午前10時～午後4時

場所：府中公園

※詳しいことは「みんなの広場」をご覧ください。

## ■フューチャー休館日

きゅうあふりあ  
3月8日(日)・19日(木)は全館が休みです。

\*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロン  
じっこういんかい 実行委員会  
わだ やすひろ 会長 和田 泰弘

府中市に住む外国人への日本語学習支援を目的に1995年4月に「府中国際交流サロン」が創設されました。その事業が昨年30周年を迎えたのを機に、府中市の国際交流事業30周年を祝う「～とともに築くつながる未来～府中市国際交流事業30年の歩み」の式典が、1月31日(土)午前10時半よりバルトホールに於いて開催されました。

当日は、高野律雄市長をはじめ、市議会議員、東京武蔵府中ロータリークラブ、サロンの関係者、市民など、71名の方々が参列されました。

府中市多様性社会推進課の萩原さんの司会進行により、高野市長の挨拶にはじまり、府中市の国際交流事業30年の歩みが映像で紹介され、そのあと、サロンを代表して私が挨拶を述べました。後半は、山田しげみ先生、ボランティアの小川秀樹さん、萱生由美子さんの3名による座談会(司会進行は和田が担当)を設け、サロンの日本語学習支援の取り組みを紹介しました。指導方針がどのように確立されていったか、また、日本語を教える苦労や失敗談、楽しさ、さらに教授法研修ではどのようなことを学ぶのか等の話を披露しました。

式典の最後には、サロンで日本語を学ぶ3名の学習者によるスピーチ披露がありました。セルバラジャ・クシャールさん(マレーシア)の司会進行で、ヤングワイファ(中国)は故郷のハルピンの思い出を、ユ・スンヒさん(韓国)はソウルを中心を流れる漢江

と人々の生活のつながりを、ブルメック・マキシムさんはフランスにおけるタトゥーが辿った歴史と、芸術として認知された過程を、皆さんそれぞれ見事な話しぶりで紹介してくれました。

式典終了後の歓談の場では、市議会議員の方々が口をそろえて、「日本語を教えることに興味を持ちましたが、とても難しそう。大変な活動をされているサロンのボランティアさんに頭が下がります」と語っていたのが印象的でした。創立30周年の節目に、「サロンの日ごろの活動を一人でも多くの方々に知っていただく」という今回の目的が達成された式典であったと思います。

## 「30周年記念サロンの集い」

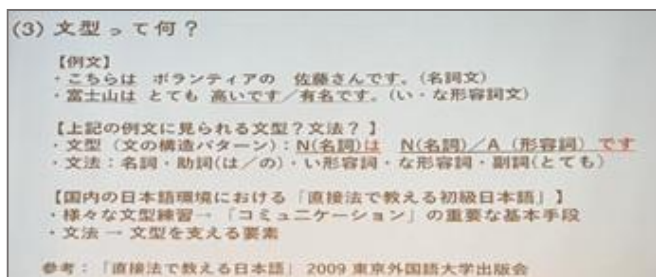
金曜夜ボランティア 守屋 裕

第一部の式典に続いて13時半から30周年記念サロンの集い第二部が始まった。バルトホールには学習者が家族を含めて76名、ボランティアとその関係者が98名、トータル174名。ぶた、ねこ、かえるなどとネーミングされたグループごとのテーブルに分かれて着席。

幕開けはフラダンス。日頃、文化交流部で練習に励んだ“黒一点”のクシャル君を含め13人のダンサーがステージに現れるとやんやの喝さいだ。出身国は中国、韓国、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、シンガポール、ネパール、日本。『亜麻色の髪の乙女』、『フキラウソング』、『パーリーシェルズ』3曲を踊り切り、会場からは温かい拍手がわいた。

二番手は中国の肖紅さん。舞うのはチベット族の踊り『蒼穹の呼び声』『ツイジェラム』（チベットの守護女神という意味）。ヒマラヤの高峰の上に広がる碧空を天がけるよう華麗に踊る肖紅さんに皆が魅了された。2曲目では会場の各テーブルから有志が参加、ステージに上がり肖紅さんと一緒にダンス。次に登場したのは交流サロンの卒業生でもある世界的なピアニスト、イタリア人のアルベルト・ピッツォさん。ニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを開催し、CDも多数出しているという超一流の音楽家だ。1曲目はジブリ映画のテーマ『ハウルの動く城』。続いてベートーベンの『月光(ピアノソナタ14番)』と、『リベルタンゴ』の2曲メドレー、その超絶技巧と柔らかな音の響きにうっとり。最後の曲は『ゴッドファーザー 愛のテーマ』。

興奮冷めやらぬまよいよハイライトのゲーム大会が始まった。10グループが4択のクイズに答えて、正解すれば得点をゲット、総合点で優勝が争われる。景品が用意されているのでいやがうえにも盛り上がるというもの。第一問が「世界遺産が一番多い国は何処？」(正解はイタリア)。各グループ、



日本語学習会ボランティアによる体験談トーク



「ふるさとの発表」の司会と発表者

# 世界の文化

## 「日本語学習発表会の原稿」

2025年12月6日(土)に、日本語学習発表会がありました。そこで発表された内容を随時、紹介します。

### 「東京を記憶するための散歩」

ユ スンヒ (韓国)

こんにちは、韓国から来たユ・スンヒと申します。私は今年の3月に日本へ来ました。今は、大学院で、1年間、韓国と日本の比較文学を学んでいます。博士課程です。来年2月に韓国に帰ります。以前は知らなかった府中での生活が本当に楽しく、日本語サロンの色々な先生に日本語と様々なものを教えてもらったので、帰るのが残念な気持ちです。

それで、今日は私が東京を記憶するために9月から選択した方法について話したいと思います。初めて日本へ来た時は学校の授業が忙しかったり、生活に慣れなかったせいでもだたくさんの場所に行けませんでした。でも、毎瞬間変わる景色と色々な街を見ながら、だんだん東京のあちこちを歩きたいと思うようになりました。それで、時間があるときはあてもなく歩いたり自転車に乗ったりしています。そして、私が歩いた、あるいは自転車に乗って走った道を記憶したくてその道をGPXで記録しています。気持ちが沈んだ時に、偶々銀座から豊洲、そしてレインボーブリッジまでずっとずっと歩いた時もあります。なんと4万歩も歩いてしまいました。驚いたし、足も痛かったけれど、気持ちは晴れ晴れとなりました。天気がいい日には自転車で多磨壺園駅から登戸駅まで多摩川の道を走ったり、ここの先生たちに勧められた小金井公園の中にある江戸東京たてもの園とか郷土の森へ行ったりしました。



正解、不正解を繰り返し、最後の問題は「徳島県にある実在の駅『府中』はなんと読むのでしょうか」という難問。(正解は「こう」)。最終結果はニワトリチームが優勝、2位はネズミチーム、3位はキツネチーム。歓声と落胆のため息が会場を交差する。

ボルテージが最高潮に達したところで、AKB48のヒット曲『365日の紙飛行機』をバックにステージの上下で参加者の大多数が乱舞。「いや楽しいね」という声があちらこちらから。2度踊った後、参加者のほぼ全員がステージの上下に集まり、記念写真を撮って、府中国際交流サロン30周年記念の集いは大盛り上がりの中でフィナーレとなった。



ダンスチームのフラダンス



チベットの民族舞踊



アルベルト・ピッツォさんの演奏

これは9月から今までの私だけの東京マップです。歩いたことを忘れてしまった道もありますが、



ふとした瞬間に散歩の道全部が思い出されることもあります。

韓国では家と学校を往復するだけで、食事も配達便で頼んだりして私はあまり活動的な人間ではありませんでした。

でも、日本という新しい空間での経験のおかげでこれから韓国とか他の場所でもたくさん物を見て、感じて、人々と話したくなりました。日本にいる時間も少なくなりましたが、可能な限り、まだまだ様々な経験をしたと思っています。残りの時間も大いに楽しみたいです。皆さん、よろしくお願ひします。

以上です。聞いていただきありがとうございます。



## 「2025年度日本語学習発表会」

金曜午後ボランティア 森田 正治

昨年(さくねん)の12月(がつ)6日(にち)(土)に「日本語学習発表会」がフューチャー第1・2会議室で開催されました。2023年度、4年ぶりに開催された際の発表者は9名でしたが、今回は8ヶ国14名の学習者さんが発表しました。参加者は、この14名を含めて学習者とその家族合わせて30名、ボランティア67名、来賓8名、その他オンライン参加が5名の合計110名という盛大な発表会になりました。

総合司会の寺岡さん(金曜午後ボランティア)が堂に入った司会ぶりで開会の辞を述べ、発表会の流れを説明した後、国際交流サロン和田会長の主催者挨拶、東京武蔵府中ロータリークラブの田村会長の来賓挨拶と続いて、いよいよ発表会の始まりです。

発表会の司会進行はマレーシア出身のセルバラジャ・クシャルさん。23年度に発表者として参加した経験のある彼には発表者さんの不安や緊張がよく分かっているのでしょうか。始めから終わりまで笑顔(えがお)を絶やさず、発表者さんのプロフィールの紹介も含めて、発表者さんに寄り添い、準備し練習した成果を悔いのないように發揮してもらおうという優しさとユーモアに溢れた、素晴らしい司会進行を見せてくれました。彼自身(かれ)いったいどれほどの準備と練習を重ねてきたのでしょうか。

14名の発表内容を全て紹介することは残念ながらできませんが、「故郷の冬の厳しい寒さ」や「母国の伝統的な食事文化」、「府中での生活」、「日本語学習の感想」、「自分が飼っている猫の話」などなど、個性やお国柄、興味関心、日本語能力に応じた、楽しく興味深いお話ばかりで、時間がたつのも忘れて聞き入ってしまいました。

日本語教授法研修会の山田先生から発表者ひとりひとりに向けて心優しい、そして的確な講評をいただき、それを聞いている発表者さんの嬉しそうな表情も印象的でした。

嬉しそうだったのは学習者さんだけではありません。

# おし かた こんな教え方しています ～ 29 ～

ん。ボランティアの皆さんこそこの会の縁の下の力持ち、これまでのご苦勞が報われた安堵と喜びの色がうかがえました。皆さん本当にお疲れさまでした。

発表終了後には表彰状授与、記念撮影、そして懇親会へと移りました。緊張も解けてあちらこちらから明るい笑い声が聞こえて、素敵な交流がますます深まっているなど感じました。

言うまでもなく、この発表会は「コンクール」ではありません。発表者ひとりひとりが今現在の自分の日本語能力に応じて、準備し練習し発表し、その経験をとおして日本語を学ぶことの難しさや楽しさをあらためて知ること。そしてそれが今後の日本語学習の励みになり、日本人との交流も深まれば、というのがこの会の趣旨ではないでしょうか。この有意義な会が未永く続いていくことを心から願いながら会場を後にしました。



発表者、司会者、そしてサポーターのボランティアの方々

## あたら はっけん わたし けいけん 「新しい発見が私の経験に」

きんよう ごご しのはら ひろこ  
金曜午後ボランティア 篠原 裕子

学習会での活動を始めてまだ1年と数ヶ月なので、試行錯誤しながら活動しています。

毎回、学習者さんの生活や身近なことについて会話をしながら、興味を持っていることや、また、困っていることがないかなどを知るようにしています。学習者さんによっては、日本語での会話がかなり上手だったり、N1を取得されたりしていて、どう進めたらいいのかと思うときがあります。そういうときは、ご本人が持参した教材を使ったり、苦手な文法があると聞けば、そこを教えたりしています。

あるとき、日常会話には困らない韓国人の学習者さんと話していたら、“聖蹟桜ヶ丘の本屋さんで本を買うと会計のとき店員さんから何か質問されるけど何を言われているのかわからない。何を言っているんだろう”と尋ねられたことがあります。私は想像力を巡らせて、「本にカバーをかけますか？」かなあと思い、日本では本にカバーを掛ける習慣があると説明しました。でも学習者さんは納得していない様子。その後、私はその本屋さんで本を買う機会がありました。会計の際に訊かれたのは、「京王パスポートカードをお持ちですか？」、「当店のポイントカードをお持ちですか？」、(持っていないと答える)「ポイントカードをお作りしますか？」でした。

日本人にとっては定型のやりとりかもしれませんが、学習者さんにとっては予想外の質問で、咄嗟には意味がわからないのだと気づかされました。

学習者さんと話すといつも新しい発見があり、それが私の経験にもなっています。学習者さんが日本語を使うときに感じるもどかしさを少しでも減らせるように、学習者さんの日本語学習のお手伝いをしていきたいと思っています。

# しん 新ボラさん こんにちば

## べんきょうぎらの こ 「勉強嫌いを乗り越えて」

きんやよる ボランティア こむら まり  
金曜夜ボランティア 小村 真理

はじめまして小村真理と申します。

子供の頃は『兼高かおる世界の旅』というテレビ番組が大好きで外国に憧れていました。いつかは海外生活と夢見ていましたが、なにせお勉強が大の苦手なもので夢は実現せず、料理が好きな普通のお母さんという超ドメスティックな暮らしを送っております。

そんな私ですが、それでもどこか外国と繋がりたいという気持があったんですね、広報で目にした日本語教授法講習の案内に飛びつきました。勉強嫌いということをすっかり忘れて。前期を受講しながら「やってしまった」と元来のおっちょこちょいも合わせて反省する日々でしたが、山田先生の楽しい授業、さりげないけれど熱い受講者の皆さんに刺激を受けて勉強嫌いと逃げているはいけません、と自分に聞かせ修了証をいただくことが出来ました。皆様に感謝でございます。

でも、まだまだ教えるというポジションまでは引き上がっておりません。先輩ボランティアさんと相談しながらゆっくりと、誠実を心がけて学習者さんと成長できればと思っております。

これからの新しい交流を楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

## りょこう しごと つう 「旅行の仕事を通じて」

すいようご 水曜午後ボランティア やまだ かずお  
水曜午後ボランティア 山田 和夫

こんにちば。私は2025年3月に44年間のサラリーマン生活を卒業し、時間に余裕ができたので、以前から興味のあった日本語研修を受けボランティア活動に応募しました。

44年間のサラリーマン生活のほとんどを旅行業で過ごした関係で、日本国内は47都道府県、海外は20の国・地域を訪問させていただきました。

海外で特に印象に残っているのは海外スキーの企画の下見で行ったカナダのウィスラースキーリゾートです。滑走距離は最長11kmと規模は北米最大級を誇ります。訪れた当日はオールカナディアンダウンヒルの大会が行われており、選手が風切り音を発しながら滑降していくのを驚愕してみている覚えがあります。

旅行の仕事を通じて多くの外国人の方々と触れ合ってきました。その経験を基に学習者の方も私自身共々楽しく日本語学習ができればと考えています。



みな がくしゅうしゃしょうかい  
皆さんよろしく◇学習者紹介

「コンビニのから揚げがおいしい！」



ガチリ・ロバートさん (ケニア)

ニックネームはロブ、ケニアのナクル市出身です。2023年に先に妻が来日、翌年私が双子の子供を連れて来日しました。双子は今4才、保育園に通っています。去年日本で3人目が生まれました。妻は留学生で、昼間は私が子どもの面倒を見ています。

私の性格は静かでシンプル、観察力があります。趣味は映画を観ること。高校時代はラグビーをやっていました。一番好きな食べ物はカレーライス、次はうどん。ケニアの料理ではウガリやヤギ肉の煮込みが好きです。ヤギ肉は新大久保で時々買います。新大久保は小麦粉も安いので、ケニアの鶏肉はかたいですが、日本の鶏肉はソフトでおいしいです。コンビニの鶏のから揚げはとてもおいしくて自分も子供たちも大好きです。

日本の印象は安全、にぎやか、街がきれい。ケニアでは夜中に散歩することはとても危険です。

サロンの先生方はとてもフレンドリーで親切です。そして、いろいろな国の友人たちと一っしょに勉強できます。好きな言葉は「おねがいします」。あちらこちらで耳にします。

来年妻が卒業したらケニアに帰国します。帰国したら休学中の大学に戻り、金融の勉強を再開します。ケニアには日本の中古車が多いのですが、車が傷ついたりした時にオリジナルの塗装に戻すことができません。そこに大きな市場があると考えていて、いつかそういう事業を立ち上げるのが夢です。

(聞き書き・今井)

がく しゅう かい  
学習会だより



「じゃんけん列車ゲームと  
楽しいお茶会」

張 知語 (中国)

ことし(2025年)の最後に、金曜午後ボランティアのみなさんと一緒に楽しいゲームをしました。日本人も、フランス人も、ベトナム人も、韓国人も、中国人もいて、国籍は違っても、みんなとても優しく楽しくて、会場には新年らしい雰囲気があって、自然と笑顔になれる、あたたかい時間が流れた。きっと誰でも、この空間にいたら幸せを感じられると思いました。

じゃんけんはとても有名なゲームですが、どうして国が違っても、こんなに多くの人が知っているのか、不思議に感じました。

じゃんけんは、中国語では「ジャンダオ・シートウ・ブー」と言います。今回、初めて日本語での呼び方を教えていただき、とても面白い体験でした。

しかし、今回遊んだじゃんけんは、中国でよく知っている遊び方とは少し違っていました。二人ずつでじゃんけんをして、負けた人が勝者の後ろに並んでいきます。その後も別のグループと続けて対戦し、最後の一人が決まるま



じゃんけんゲーム

で続けました。その様子が、まるでスネークゲーム(ヘビゲーム)みたいで、とても可愛くて楽しかったです。

じゃんけんゲームのあとは「お茶会」でした。

勉強会のみなさんから美味しいお菓子をいただいて、ゆっくりお話をしました。たくさん種類のお菓子がありましたが、その中で一番印象に残ったのは、「白くて、四角くて、ココナッツの香りがあるお

菓子」です。名前を思い出せなくて少し残念ですが、とても美味しかったです。

隣には日本人、中国人、韓国人でしたが、会話は想像より優しかったです。

隣のボランティアさんの話し方がとても可愛くて、私もいつか、可愛くてペラペラな日本語を話せるようになりたいと思いました。そのためにも、これからも一生懸命、日本語の勉強を続けます。今回のイベントを通して、子どもの頃に戻ったような、素敵な思い出になった。今度も参加したい！

## みんなの広場

### 「桜まつり参加 告知」

第55回府中市民桜まつりに、府中国際交流サロンも参加します。

#### ■民踊流し

日時：3月28日(土)午後1時～2時(雨天中止)

場所：桜通り(ふれあい会館前から中央文化センター一前交差点間)

#### ■ブース展示(サロンの紹介、国際交流)

日時：3月28日(土)・3月29日(日)

午前10時～午後4時

場所：府中公園

\* 学習部会ごとの担当は以下の通りです。

担当時間帯	28(土)	29(日)
10:00～12:00	月午前	金夜
12:00～14:00	水午後	金午後
14:00～16:00	土午後	月午後

(編集部)

## 「編集後記」

私が2025年で一番衝撃を受けたニュースは、ローマ字のつづり方が訓令式からへボン式に変わる、というものでした。これまでの胸の中のモヤモヤが晴れていく思いがしました。

私が学校で教わったローマ字はたしかに訓令式で、そのときは外国の文化に初めて触れたように思い、嬉しくて友だちへの手紙をすべてローマ字で書いたりもしました。ところが実際に目にするローマ字はなんとなく違う。Fujiisanは本当はHuzisanではないのか、ShimbashiはなぜSinbasiと書かれていないのか。「ん」は「n」と書くはずなのに…。

今は多少勉強もし、大人の事情も分かるようになりました。統一するのは大変なことなんだな。でもこれでやっと気持ちよくへボン式を使えるんだな、と思った次第です。(今井)



【創刊】1997年11月

【編集】編集長：和田泰弘

会報部会：末田・和田・堤林  
岩城・今井

【事務局】電話：042-352-4178

サロンのホームページ

<https://fuchukokusai.com/>

